

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報

				平成	30	年度
事業番号	423		事業名	地区公民館事業費		
担当課	中央公民館		担当係	—		
総合計画に最も関連ある施策	施策	6	こころ豊かな人づくり	連絡先	0858-72-3113	
	施策体系	2	社会教育の充実	事業区分	□新規 ■継続	
	主な事業	町内の各地区公民館で開催するスポーツ・文化事業や講座等の支援				
予算区分	款	9	教育費	事業実施主体	■八頭町 □その他	
	項	4	社会教育費			
	目	2	公民館費			
	事業	423	地区公民館事業費	計画期間	開始	—
				終了	—	

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載 町内に住む子どもから高齢者までの方		
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載 各地区公民館を拠点として、地域により密着した社会教育活動を進め、活力ある地域づくりを推進する。		
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載 各地区公民館が地域の住民を対象にして開催するスポーツ事業、各種講座・教室事業や地域の特色を活かした事業の実施		
事業の手段	どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載 各地区公民館で年間事業計画を策定し、その計画をもとに参加者を募集しながら事業を展開していく。		
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載 各地区公民館において子どもから高齢者を対象に幅広く事業を行い、活発な社会教育・公民館活動の発展につなげる。また、地域住民の方の意見を伺いながら、より良い公民館事業に取り組む。		
根拠法令等	1	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし	法令等名 → 社会教育法

3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし
	A	回	各講座・事業開催回数
	B		
	C		
	D		
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし
	A	人	各講座・事業参加者数
	B		
	C		
	D		

4 コスト

区分		単位	H27年度	H28年度	H29年度		H30年度		R1年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	回	188	184	190	174	190	176	190
	B								
	C								
	D								
成果指標	A	人	8,411	9,252	9,500	8,167	9,500	7,572	9,500
	B								
	C								
	D								
トータルコスト		千円	6,771	6,648	7,326	6,412	7,156	6,674	7,156
担当職員数		人	0.5	0.5	0.5	0.50	0.5	0.50	0.5
職員人件費		千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
事業費		千円	2,771	2,648	3,326	2,412	3,156	2,674	3,156
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円							
	県支出金(交付金・補助金)	千円							
	地方債(借入金)	千円							
	事業収入(使用料・参加費等)	千円							
一般財源(単町費)		千円	2,771	2,648	3,326	2,412	3,156	2,674	3,156

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)	平成	30	年度
実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)		
	各地区公民館での主な事業は、郡家東:歌声喫茶、郡家西:豊かな暮らし・手作り講座、船岡:ゆめ音楽祭、隼:隼プール祭り、済美:ピザ教室、大江:伝統料理教室、安部:門松づくり、八東:星の観望会、丹比:春と秋の遠見山登山		
	成果(具体的に)		
社会教育の充実のため、生涯学習の拠点である公民館において、質の高い生涯学習、文化芸術、生涯スポーツを実施し、地域のふれあいづくりや生きがいづくり、地域のコミュニティの推進を図ることができた。			

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	13	20	①必要性が高い	地域における身近な学習・交流の場として多様な講座を展開し、生活文化の振興、豊かな人づくり、仲間づくりを推進することが必要である。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	13	20	①町が行わないといけない	豊かで充実した人生を送るため、社会教育・生涯学習の機会を公民館が提供し、地域の振興や活性化を促進していくことが必要である。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	各地区公民館で行っている講座等に地元の人材を活用することによって、効率的な事業実施に努めている。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	地域住民の要望や価値観が多様化している中において、地域内におけるつながりが弱くなってきており、公民館を拠点とした生涯学習に取り組んでいくことにより、住民の心豊かな生活を営むことに寄与することができる。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	住民の学習ニーズを的確に捉えた事業を実施することで、学習の意欲を高めるとともに、相互の繋がり、地域の活性化に寄与することができている。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
2	1、拡充する	80点以上	65	地域の身近な学習・交流の場としての公民館の役割を果たすため、生涯学習の機会の提供に取り組んだ。参加者の固定化が課題となっており、新しい参加者が増えるような事業を取り入れていく必要がある。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	2	
	4、見直しの上縮小する	40～49点		
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
2	1、拡充する	公民館は、生涯学習の拠点としての役割を果たすものであり、本事業においては、様々な世代・分野に渡る各種講座・教室、地区運動会やスポーツ大会、地域イベント等が実施されている。地区公民館は、地域により密着した生涯学習拠点・地域交流拠点としての役割を担っており、地域に根差し、各地域の特性を生かした特色のある活動を進めていただきたいところであるが、昨今の住民ニーズや価値観の変化の速さを踏まえ、町民ニーズの変化等にも即応した事業を実施していくため、それぞれの地域住民の意見を十分に反映させながらも、他の自治体の取組を参考にするなど既存事業の見直しや新たな事業の発掘についてこれまで以上に積極的に情報収集・検討を行い、より効果的な事業展開に努めていただきたい。また、平成28年度には、公民館の在り方に関する基本的な方針が示されたところであるが、地域福祉の取組として行っている各地区のまちづくり委員会の活動との連携・調整等を含め、より効率的な地区公民館事業の実施に努められたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所 住民のニーズを的確にとらえた、各種学習・講座を実施し、多くの方に参加していただいた。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか 地域住民の身近な社会教育の場として、住民ニーズを的確にとらえた事業を展開出来るよう、住民の意見の把握を進めていく。また、各地域のまちづくり委員会の設立の状況把握をする。